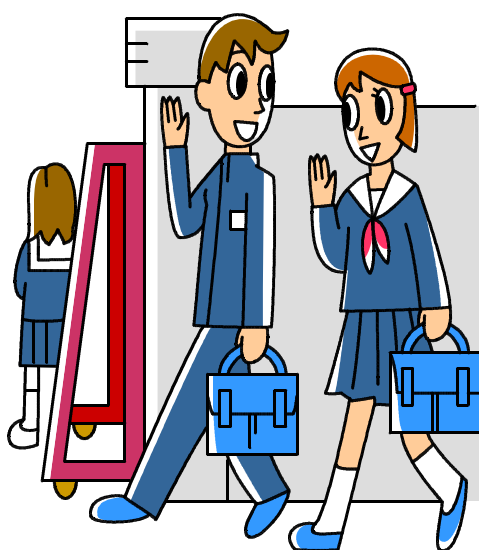


# Ⅱ 中学校編



1 題材名 「がんと健康」(中学校・保健体育)

2 目標

- ・ がんについて関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むとともに、健康的な生活を実践しようとする態度を身に付けることができるようにする。
- ・ がんに関する知識を活用し、話し合いを通して、がんと予防する生活習慣について考えを深めることができるようにする。

3 内容及び指導方針

(1) 教材の位置付け【がん教育推進のための教材(P44~62)】参照)

1	がんとはどのような病気でしょうか？
・	1-(1) がんとは(P46)
2	我が国におけるがんの現状
・	2-(1) がんは最も大きな健康課題(P47)
3	がんの経過と様々ながんの種類
・	3-(1) がんの経過(P48)
4	がんの予防
・	4-(1) がんの原因は一つではない(P50)
・	4-(2) 望ましい生活習慣
5	がんの早期発見とがん検診
・	5-(1) がん検診による早期発見の重要性(P52)
6	がんの治療法
・	6-(1) がん治療の三つの柱(P54)

(2) 指導方針

日本人の死因として最も多いがんについて学ぶことは、中学校の内容である「健康な生活と疾病の予防」を理解する上で重要である。第3学年の疾病の予防の内容において、がんを取り上げ、その要因、経過等の疾病概念、予防、検診、治療方法に関する学習を通じて、生徒一人一人が、個人生活における健康に関する事柄に関心をもち、それらを科学的に理解し、適切な態度を身に付けて、行動をとることができるように指導する。そして、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育成する。

4 評価規準

(1) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
・ がんに関する学習内容に関心をもち、課題の解決に向けた話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・ 学習したことをもとに、自己の生活習慣を振り返り、がんや生活習慣病を予防するための生活習慣を考え、表現している。	・ がんやがんの予防方法等について正しく理解し、書き出している。

(2) 単元の指導と評価の計画 (※ a : 関心・意欲・態度 b : 思考・判断 c : 知識・理解)

時	学習内容	学習活動	ねらい	a	b	c	評価規準	評価方法
1	がんとがんの予防	① がんについて理解する。 ② がんを予防するための生活習慣を考える。	がんについての理解を深め、がんの予防につながる生活習慣について考えを深めることができる。		◎	◎	◎ がんやがんの予防方法等について正しく理解し、書き出している。  ○ がんに関する学習内容に関心をもち、課題の解決に向けた話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。  ○ 学習したことをもとに、自己の生活習慣を振り返り、がんや生活習慣病を予防するための生活習慣について考え、表現している。	ワークシート  観察 ワークシート  観察

5 展開

↓「がん教育推進のための教材 (P44～62) 参照」

時間	主な学習内容・学習活動	教材	指導上の留意点 (◆評価)
はじめ 5分	1 がんの現状を知り、自分自身の生活習慣を確認する。 ・ 「がんに関するクイズ」を行う。 ・ 普段の生活を振り返り、感想を書く。		○ 身近な人をがんで失っていたり、現在闘病中の家族がいたりする生徒に対して配慮する。(辛くなったら退出してよいことを伝える。) ○ クイズを通して、がんの現状等を把握させ、生活習慣との関連やリスクについて実感させながら、学習意欲を高め、本時学習の方向付けを図る。
	2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">がんについて理解し、がんを予防するために必要なことは何かを考えよう。</div>		
なか 40分	3 がんについて理解する。 (1) がんとは ・ がんの仕組み  (2) がんは最も大きな健康課題 ・ がんは日本人の死因の第1位であること、日本人の2人に1人がかかること	P46 (図1)  P47 (図1)	○ 教材を図示しながら、がん細胞のできたや健康な人でもがん細胞が毎日多数発生していること、免疫機能ががん細胞を死滅させていることなどを理解させる。  ○ 図1を参照し、がんにかかる人が増え続けていることを補足する。

	<p>(3) がんの原因は一つではない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ がんの原因</li> </ul> <p>(4) 望ましい生活習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5つの生活習慣を実践することで、がんになるリスクが低くなること</li> </ul> <p>(5) がんの経過</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ がんの進行</li> </ul> <p>(6) がん検診による早期発見の重要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早期に発見するために定期的にがん検診を受ける必要があることやその重要性</li> </ul> <p>(7) がん治療の三つの柱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ がんの治療方法</li> </ul> <p>4 自分自身ががんや生活習慣病を予防するための生活習慣を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動、食生活、休養、検診、その他</li> </ul> <p>5 4で考えた生活習慣を、グループで発表し、友だちの意見を取り入れる。</p>	<p>P 5 0</p> <p>P 5 0 (図 1)</p> <p>P 4 8 (図 1)</p> <p>P 5 2 (図 1)</p> <p>P 5 4 (図 1)</p>	<p>○ がんの原因は一つではなく、いくつかが重なり合った時に、発生する可能性が高まることを理解させる。</p> <p>○ 図 1 を用いて説明し、自己の生活と照らし合わせながら、がんになるリスクとどのように関連しているかに着目させる。</p> <p>○ 図 1 を用いてがんの進行について説明する。がんが進行すると、今までどおりの生活ができなくなったり、命を失ったりすることもあるので、早期がんの段階で発見することが重要であることを理解させる。</p> <p>○ 図 1 を参照し、早期発見が大切であることを理解させる。また、初期のがんは、症状がないまま進行することが多いため、症状がなくても定期的に検診を受ける必要があることを理解させる。</p> <p>○ がんの治療には、3つの治療方法があることを確認の上、図 1 を参照し、組み合わせて行う治療についても触れるようにする。</p> <p>◆ 知識・理解（ワークシート） がんやがんの予防方法等について正しく理解し、書き出している。</p> <p>○ ワークシートを使って、自分自身の生活習慣の改善について具体的に考えさせる。教科書の「がんを防ぐための 1 2 か条」を参考にするように指示する。</p> <p>◆ 思考・判断（観察） 学習したことをもとに、自己の生活習慣を振り返り、がんを予防するための生活習慣を考え、表現している。</p> <p>○ 発表後に質問したり、意見を述べたりするように指示することで、様々な友だちの意見を参考にすることができるようにする。</p>
<p>まとめ 5 分</p>	<p>6 がんについて学習したことを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習で感じたことや気付いたことをワークシートに記入する。</li> </ul>		<p>○ ワークシートを使って振り返らせ、本時の学習内容をさらに深く実感させて日常生活に生かすことができるようにする。</p> <p>◆ 関心・意欲・態度（観察、ワークシート） がんに関する学習内容に関心をもち、課題の解決に向けた話合いなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>

◆ 評価の（ ）は評価方法

# 保健分野ワークシート

3年( )組( )番 名前( )

## 1 現在の自分自身の生活習慣をどう思いますか？


がんに関するクイズ		○ or ×
Q1	がんの発生は、細胞内の遺伝子が傷ついて起こる。	
Q2	日本では、がん患者数と死亡者数は、1980年～2010年の30年間では、やや減少している。	
Q3	2014年の統計では、日本のがん死亡者数は、交通事故死亡者数を50倍した数より多い。	
Q4	日本人が、がんで死亡する割合は、4人に1人である。	
Q5	日本人が、がんにかかる割合は、3人に1人である。	
Q6	がんにかかる原因は、生活習慣、細菌・ウイルス感染、遺伝素因など様々ある。	
Q7	日本では、やせすぎもがんの原因になると言われている。	
Q8	発生した1個のがん細胞は、目立った症状がないまま増え続ける時期がある。	
Q9	多くのがんは早期に発見すれば、約9割治る。	
Q10	がんの治療法は、手術しかない。	

## 2 生活習慣病を防ぐ（がんを防ぐ）ためには

① 【                   】・【                   】…（                   ）  
○（                   ） ○（                   ） ○（                   ）  
（                   ）や過度の（                   ）をしない

② 【                   】・【                   】…（                   ）  
○（                   ）  
○治療法（                   ）・（                   ）・（                   ）

【クイズの答え】 Q1 : ○    Q2 : ×    Q3 : ○    Q4 : ×    Q5 : ×  
                  Q6 : ○    Q7 : ○    Q8 : ○    Q9 : ○    Q10 : ×

### **3 がんを予防するために、自分は何をしますか？**

具体的に文章で書いてください。

<b>運動</b>	<hr/> <hr/> <hr/>
<b>食生活</b>	<hr/> <hr/> <hr/>
<b>休養</b>	<hr/> <hr/> <hr/>
<b>検診</b>	<hr/> <hr/> <hr/>
<b>その他</b>	<hr/> <hr/> <hr/>

### **4 授業の感想や気づいたことをまとめましょう。**

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---

1 主題名「健康といのちの大切さを考える～小児がんを通して～」(中学校・道徳)

2 目標

小児がんについて理解を深め、社会で共に生きる一員として自分に何ができるかを考え、かけがえのない命を大切にす心情を育てる。

3 がん教育の視点

小児がん患者や小児がん経験者など、がんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康といのちの大切さについて考え、共に生きる社会を築く一員として必要な資質や能力を養う。

4 指導方針

本時は、宮崎県のがんに関する教育の目標②「健康といのちの大切さについて主体的に考え、行動できる態度を育成する」ことをねらいとしている。

主な学習内容・学習活動の1～2までは、小児がんについて正しく理解させる。3では、小児がんについて理解したことをもとに、小児がん患者の不安や悩みを和らげる言動について、自分に何ができるかを考え、友だちと話し合いながら考えを深めていく中で、社会で共に生きていく一員としての役割を考えさせる。4では、説話を通して、生徒一人一人に、自他の健康やいのちの大切さについて十分に考えさせる。

5 展開

↓「がん教育推進のための教材 (P44～62) 参照」

時間	主な学習内容・学習活動	教材	指導上の留意点 (◆評価) (T1 学級担任 T2 養護教諭)
導入 3分	1 既習内容と学習の目的を確認する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な人をがんで失っていたり、現在闘病中の家族がいたりする生徒に対して配慮する。(辛くなったら退出してよいこと等を伝える。)(T1)</li> <li>○ 生活習慣と関連があるがんだけでなく、生活習慣が主な原因とならないがんもあることを理解させる。(T2)</li> <li>○ 本時の学習は、生活習慣が原因ではない小児がんについて学習することを確認する。(T1)</li> </ul>
展開 45分	2 小児がんについて理解する。 ○ 小児がんの概要  ○ 治療と副作用	P54 (図1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年間に、推定2000～3000人の15才未満の小児が罹患し、宮崎県では、約15～20人が罹患していることや、日本における小児がん経験者は約5万人と推測されることに触れる。(T2)</li> <li>○ がんの治療には、手術療法、放射線療法、化学療法を単独あるいは組み合わせて行うことを理解させる。(T2)</li> <li>○ 治療によって起こる副作用についても理解させる。(T2)</li> </ul>

	<p>3 どのような言動が、小児がん患者の不安や悩みを和らげるのかを考える。(グループ)</p>		<p>○ グループ毎に、小児がん患者の不安や悩みを和らげる言動を考えさせる。(T 1、T 2)</p>
<p>考えよう： 小児がん患者の心配や不安は、わたしたちのどのような行動や言葉で和らぐのだろう。</p>			
<p>展開 45分</p>	<p>&lt;予想される考え&gt;          ① 勉強の遅れが心配          ・ ノートを見せてあげる。          ・ わからないところを教える。          ② 脱毛          ・ 気にしなくていいよと言う。          ・ 頭髪について話題にしない。          ③ 友達の中に入りづらい          ・ 声をかける。          ・ SNS でつながる。          ④ 食欲がない          ・ 給食の量を減らす。          ・ 先生に相談する。          ⑤ 欠席が多くなる          ・ 授業のノートを書いてあげる。          ・ 学校の様子を教える。          ⑥ できていたことができなくなる。          ・ 手伝う。          ・ 代わりにしてあげる。</p> <p>4 グループ毎に発表したり、カードに書き表したりして考えを深める。</p>	<p>P 5 7 資料 8 (1)  P 5 8 資料 9 (2)</p>	<p>○ 学校や日常生活で共に生きる一員として自分にできることに意識を向けさせ、温かい雰囲気の中で考えながら、話し合いに参加できるようにする。(T 1)</p> <p>○ 必要に応じて、予想される考えを例示し、話し合いの活性化を図る。(T 1)</p> <p>◆ 小児がん患者の不安や悩みを和らげる言動について、主体的に考え、友だちの意見を受け入れながら聞き、協働的にまとめている。(記述、発言)</p> <p>○ 教材を使い、グループ毎の考えがまとまった後は、他のグループに説明させる。説明を聞いたグループには、質問させたり、意見を付け加えさせたりしながら、共感的に考えを深めさせる。(T 1)</p> <p>◆ 自他の健康といのちの大切さについて自分の考えを発言したり、書き表したりしている。(観察、記述)</p> <p>○ 書き表した考えに対して賞賛し、温かな雰囲気の中で自己効力感や自己肯定感が高まるようにする。(T 1、T 2)</p>
<p>まとめ 2分</p>	<p>5 教師の説話を聞く。</p>		<p>○ 一人では乗り越えられない辛い出来事も理解し合い支え合う仲間がいることで、希望をもって、よりよく生きることができるとして話し、生徒に感想を聞くなどしてそのよさが実感できるようにする。(T 1)</p>

◆ 評価の ( ) は評価方法